令和3年度　１学期 終業式校長講話

「こころの通知票」

４月６日にスタートした１学期も今日で終了します。今日まで学校に来た日数は７３日です。みなさんの７３日間はどうだったでしょうか。1学期は運動会も授業参観もできました。昨年度よりは今までに近い学校生活が送れましたね。みなさんは充実した毎日が過ごせましたか。

今日みなさんがもらう通知票は、 １学期の学習や生活について成績という形で伝えられます。

でも先生方からもらう通知票だけでは表せないみなさんの７３日があったと思います。そこで今日の話の題名は「こころの通知票」とします。

「こころの通知票」が、もしあったとしたらその通知票をだれがつけるのかと言うとそれは、先生でも友達でもお父さんお母さんでもない、みなさん自身です。

まずは１学期の自分を振り返ってみてください。こころの通知票の付け方は、次の三つのことができていたかどうかです。

一つ目「話をしっかりと聞くことができましたか。」

先生の教え子に勉強が苦手で困っている子がいました。塾に行けばいいかと相談されたので、「塾に行くのもいいけれど、まずは授業中、しっかりと話を聞くようにしよう。うなずきながら、先生や友達の話を聞いてみよう。」とアドバイスをしました。その子は半信半疑でしたが、さっそく2学期から実行しました。それまでおしゃべりしていたり、違うことを考えたりしていたので、慣れるまでは大変でしたが、何日か続けていくうちに上手に話を聞くことができるようになりました。そうすると、今まで分からなかったことがどんどん分かるようになりました。成績も上がり、クラスで一番になりました。話を聞くだけでこんなに効果があるのだとその子はとても驚いていました。話を聞けたかどうかはとても大切なことなのです。

二つ目「自分から挨拶をすることができましたか。」

「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」「ありがとうございます。」などを声に出して言えたでしょうか。挨拶がしっかりとできれば、将来どんな仕事についても困ることはありません。きっと周りの人から大切にされて幸せに人生を過ごしていけます。「挨拶は魔法の力」という歌があるのですが、その歌詞を読むと「ちょっと勇気がいるけれど　思い切って声に出してみよう　挨拶は魔法の力　一人の勇気がみんなを変える　家族も友達も学校も」とあります。　あいさつは人と人を結ぶ魔法の言葉なのですね。しっかり挨拶ができたかどうか振り返ってみてください。

三つ目「友達と仲良くできましたか。」

みなさんは、相手の気持ちを考えて行動することができたでしょうか。この前あるクラスの授業を見に行きました。そのクラスでは、友達が自分の考えを言うと「 その気持ちわかるなあ。」というようにクラスのみんながうなずきながら聞いていました。友達がなるほどそういう考えもあるのだな、と思いながら自分の考えを聞いてくれたらうれしいですね。友達と仲良くする、ということは友達の考えを受け入れるということでもあるのです。

さて、こころの通知票があったらみなさんは自分の１学期に「よくできる」をつけますか。それとも「できる」ですか。それとも「もう少し」でしょうか。

授業や勉強を頑張って成績を上げることが出来るように、ちょっと気を付けていけば、こころの通知表も変わってきます。1学期の振り返りをして、2学期もがんばっていきましょう。

明日から３７日間の長い夏休みに入ります。授業はないけれど、みなさんの心と体と頭脳の成長はずっと続きます。宿題ももちろん大切ですが、夏休みにしかできないことや体験をたくさんして心も体も頭も鍛えてください。 2学期に元気なみなさんと会えることを楽しみにしています。